

<60> 指揮者のために。弦楽器に合わせて。
第八の調べにのせて。ダビデの賛歌。

60:1 神よあなたは私たちを拒み私たちを破られました。あなたは怒られました。どうか私たちを回復させてください。

60:2 あなたは地を揺るがし引き裂かれました。その裂け目を癒やしてください。地が揺れ動いているからです。

60:3 あなたは御民を苦しい目にあわせよろめかず酒を私たちに飲ませられました。

60:4 あなたはあなたを恐れる者に旗を授けられました。弓から逃れた者をそこに集めるために。セラ

60:5 あなたの愛する者たちが助け出されるようあなたの右の手で救い私に答えてください。

60:6 神は聖所から告げられました。「わたしは喜んでシェケムを分けスコテの平原を測ろう。

60:7 ギルアデはわたしのもの。マナセもわたしのもの。エフライムはわたしの頭のかぶと。ユダはわたしの王笏。

60:8 モアブはわたしの足を洗うたらい。エドムの上にわたしの履き物を投げつけよう。ペリシテよわたしのゆえに大声で叫べ。」

60:9 だれが私を防備の町に連れて行くのでしょうか。だれが私をエドムまで導くのでしょうか。

60:10 神よあなたご自身が私たちを拒まれるのですか。神よあなたはもはや私たちとともに出陣なさらないのですか。

60:11 どうか敵から私たちを助けてください。



人による救いはむなしいからです。
60:12 神にあって私たちは力ある働きをします。神が私たちの敵を踏みつけてくださいます。

ヨアブによる大勝利があったのですが、その勝利にいたるプロセスとして、表題にあるように「教えのために」（ここには表記されていませんが）ダビデが歌ったものです。成功したらそれで安心して、それ以前のことを忘れてはいけないという思いで歌われたのでしょうか。

ここにはエドムに責められて弱り果てているダビデとその王国の様子が表わされています。しかしここには「旗を授けられました」と、主がその聖名を掲げて戦っておられるのが分ります。苦難においては人ではなく、主が頼りになる方なのです。

成功や勝利のときこそ、自分の苦しかったときや主に背いていたことを思い出しましょう。そこで主の憐れみや力を再確認しましょう。主に感謝しつつ主に従いましょう。また同じ不信仰を繰り返さないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

